

令和2（2020）年度 社会福祉法人大木会 事業報告

<はじめに>

近年、知的障害者福祉施設は“施設から地域へ”の言葉で表されているとおりに存在していることを否定され解体を求められているという大きな政策方針のもとにあります。その根拠は、施設では職員が立場をもとにした権力による暴力的な管理・支配が閉鎖的空間のなかで行われている非人権構造であるからだと言及されています。大木会は発足以来その問題視されている「入所形態の施設」を事業としており、グループホーム2か所の運営を加えた今も入所施設が中核事業であることに変わりはありません。それでは大木会の入所施設は一般的に言われる“否定・解体”されるべき活動実態なのか。継続存在して問題はないのか。私たちは常に自らの活動を振り返り、確認しながら進まねばなりません。

大木会の施設では、全ての方々があゆみの速さや成長の段階は違っても“人と生まれて人間となる”道筋を、職員も仲間も一体となって、その関係を育てる「教育的目的をもって日々の生活を過ごす」生活即教育の暮らしの場であると考えています。生活の中で、他者との関係のなかで自己を育てる共感・共生がそれぞれの発達を支え、より質の高い暮らしの場となるのであり、それは単に終の棲家を目的とした福祉収容施設ではなく、落ち着いて安心した日々を暮らすことが出来ない有期限の通過型施設でもなく、まさに「福祉と教育」が結び合う「要」となる活力ある育ち愛の場として、必要な方が必要な期間安心して暮らすことが出来る生活の場ととらえて運営しています。

<本部>

2020年1月に日本でも新型コロナウイルス感染症患者が確認され、その後は感染拡大の勢いは衰えることなく今日も続いています。各施設の寮生さんの年齢と健康状態を考えると、すべてにわたり生活活動を自粛し感染源との接触の可能性を下げる以外にありません。日々の暮らしの取り組みを重要な生活課題としている私たちにとって、所謂「三密」の状態を避けることはできません。したがって職員に対しては、私生活こそ責任ある行動をとることを求め、同居家族者に対しても施設の暮らしを理解した対応を求めてきました。すべてにわたり感染症対策を意識した過ごしを求めると同時に感染症対策手当を創設し対応するとともに意識の啓発と継続を求め施設の健康保持を進めました。

やむを得ず「自粛生活」を強いられている生活状況の中では、これまで当たり前であった暮らしが制約され、改めて一人ひとりの暮らしと活動を見つめ直すことが必要になりました。楽しみや満足感、達成感、価値観も一人一人違います。その違いの中からもわずかに共通すると思われることをつなげ共感につなげていく活動は、みんなが対等で解放的な関係なくしては成立しません。平凡な暮らしの一コマに意味と価値を見つけだすことが出来る職員とその生活（職場）環境が不可欠です。

1、重点事項を掲げた4項目については、以下のとおり報告します。

1) 財務、事業の透明性と健全な運営

- ・令和元年度事業報告、会計収支決算の認定、承認後関係諸表とともに「社会福祉法人の財務諸表等開示システム」で開示しています。
- ・法人会議を月初に開催し、法人・各施設の運営状況及び事業の進捗を確認。本年より支援部（生活支援員）リーダー、給食部門で一麦ともみじ・あざみ施設合同の会議を始めました。
- ・改築積み立て資金として予算どおり44,500千円（一麦13,000千円、あざみ8,250千円、もみじ19,250千円、おおきな木4,000千円）を積み立てました。

2) 個人の尊厳と集団の生活で、響きあい、育ちあう暮らしの充実

- ・『知的障害者入所施設の改革とは』（田村俊樹）2020.6.3 を冊子化し全職員に配布。湖南省健康福祉部長、滋賀県知事にも届け、入所型施設の活動意義とその共育的目的を示しました。
- ・人権研修、ハラスメント防止研修を計3回行い33名の職員が受講できました。外部研修とともに施設内研修を継続し、身近な共通の問題から人権意識を育てる、磨いていくことが必要です。

3) 高齢化、健康への配慮と取り組み

- ・新型コロナウイルス感染症は、まさに高齢者、基礎体力の弱い人の健康不安、生命への不安が大きく、各施設ともに職員が感染源を持ち込まないように。また日常生活での保健衛生を徹底し対応するとともに職員、利用者ともに毎日の健康確認（検温）を継続しています。

4) 求人活動の強化。職員の育ちの支援、資質の向上・充実

- ・求人情報提供機関及び媒体
ハローワーク・インターネット・サービス、日本知的障害者福祉協会（リクオプ）、「福祉のお仕事」（滋賀県社会福祉協議会）、「求人受付ナビ」、「キャリアタス UC」
- ・就職フェア参加状況
○10月18日（日）草津まちづくりセンター 9名面談うち1名採用
○12月20日（日）滋賀県大津合同庁舎 9名面談
○2月27日（土）サンライフ甲西 2名面談
- ・青山塾の開講を断念し休講としました。
各講師とスケジュール調整を行い進め、北海道からも参加申し込みを受けていましたが、感染症の終息が見込めないと判断し休校としました。
一碧文庫所蔵の資料整理（リスト化、デジタル化）を進めるとともに湖南省に寄託されている田村一二記念館所有資料を確認と調査を実施し、資料の返還準備を進めました。

5) 災害対策・防災

- ・火災を想定した対応については、訓練、設備ともに定期的に点検を実施し、必要な報告、届け出を行いました。
- ・自然災害による危機対応について、それぞれにBCP（事業継続計画）案（ひな形）が改訂されたこともあり現在対応できていません。次年度の課題として準備を進めています。

- ・新型コロナウイルス感染症を含めた感染症対応の BCP 作成も未完了となり次年度への継続課題となりました。

6) なんでもお話ししましょう会 (苦情解決委員会)

- ・苦情受付や人権に係る案件はありませんでした。感染防止対応として通院以外の外出も禁止となっている状況下で、委員会及びお話し会は、全く実施できない1年でした。

2、役員会・評議員会関係

〈監事監査〉

- 1) 令和2年5月25日(月) 9:50~13:50 於大木会事務局

令和元年度理事、法人及び施設の執行状況及び財産管理状況、会計状況に関する監査。

〈理事会〉

- 1) 第1回理事会/令和2年6月4日(木)、於もみじ・あざみ

諸規定の一部改正について、令和2年度会計収支補正予算案(第一次)の承認について、令和元年度事業報告の承認について、令和元年度会計収支決算報告の承認について、監事監査報告の承認について、評議員会の招集について

- 2) 第2回理事会/令和2年10月1日(木)、於湖南省市・じゅらくの里福祉パーク館

寄付金の申し出と採納の承認について、令和2年度事業計画の変更事項の承認について、評議員会の招集について

- 3) 第3回理事会/令和2年12月14日(月)、於クサツエストピアホテル会議室

令和2年度会計収支予算補正(第二次)案の承認について、貸付金の償還完済に伴う報告と抵当権抹消手続きについて、評議員会の招集について

- 4) 第4回理事会/令和3年3月11日(木)、於一麦

もみじ体育館照明設備改修工事の契約と着工の承認について、令和2年度会計収支補正予算案(第三次)の承認について、令和3年度事業計画の承認について、令和3年度会計予算案の承認について、諸規程の一部改正について、評議員会の招集について

〈評議員会〉

- 1) 第1回定時評議員会/令和2年6月22日(月)、於一麦

諸規定の一部改正の承認について、令和2年度会計収支法制予算案(第一次)の承認について、令和元年度事業報告の承認について、令和元年度会計収支決算報告の承認について、監事監査の報告について、社会福祉充実残額の報告について

- 2) 第2回評議員会(決議の省略)/令和2年10月10日(土)

寄付金の申出と採納の承認について、令和2年度事業計画の変更事項の承認について

- 3) 第3回評議員会(決議の省略)/令和2年12月26日(土)

令和2年度会計収支予算補正(第二次)案の承認について、貸付金の償還完済に伴う報告と抵当権抹消手続きについて

- 4) 第4回定時評議員会/令和3年3月23日(火)、於クサツエストピアホテル会議室

もみじ体育館照明設備改修工事の契約と着工の承認について、令和2年度会計収支補正予算案(第三次)の承認について、令和3年度事業計画の承認について、令和3年度会計予算案の承認について、諸規程の一部改正について

3、寄付採納について（敬称略）

- ・一麦保護者（41名）（4,970千円） 一麦改築整備費償還金財源として
- ・もみじ・あざみ家族の会（7,000千円） もみじ・あざみ改築整備償還金財源として
- ・大木会後援会（900千円） 償還金財源、職員育成事業及び感染症対策費として
- ・（一財）大井伊助積善会（300千円） 法人事業費として
- ・（株）シガ技研（300千円） 一麦、もみじ、あざみ各施設事業
- ・元もみじ利用者家族（18,729,501円） もみじ施設事業

4、長期借入金返済状況

- ・（独）福祉医療機構、（株）滋賀銀行からの施設整備等の長期借入金については下記の表のとおり返済予定額を返済しました。

（令和3年3月31日現在） 単位：円

使 途	借 入 先	期首残高	当期返済額	期末残高	完済年度
建物取得（一麦）	（独）福祉医療機構	22,500,000	4,500,000	18,000,000	2024
建物取得（あざみ）	（独）福祉医療機構	2,100,000	2,100,000	0	完済
建物取得（もみじ）	（独）福祉医療機構	4,900,000	4,900,000	0	完済
建物取得（GH 碧天）	（独）福祉医療機構	27,122,000	2,292,000	24,830,000	2032
小 計（1）		56,622,000	13,792,000	42,830,000	
建物取得（一麦職員寮）	（株）滋賀銀行	19,544,000	5,076,000	14,468,000	2023
建物取得（特殊浴室棟増築）	（株）滋賀銀行	18,750,000	3,000,000	15,750,000	2026
内 訳	一 麦	6,250,000	999,900	5,250,100	
	もみじ	6,250,000	999,900	5,250,100	
	あざみ	6,250,000	1,000,200	5,249,800	
小 計（2）		38,294,000	8,076,000	30,218,000	
総 計		94,916,000	21,868,000	73,048,000	

5、規則・規程の制定／改廃

- ・役員定年内規 廃止（令和2年6月4日 第1回理事会）
- ・定年退職の日以降の役員主な労働条件の取り扱い細則 廃止（同上）
- ・役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正 第3条（報酬の額）（同上）
- ・育児休業等に関する規程の一部改正 令和3年1月1日適用
（介護休暇）第9条 時間単位の取得
- ・介護休業等に関する規程 令和3年1月1日適用
（子の看護休暇）第10条第2項 時間単位の取得

6、主な契約・許認可・届出

1) 契約

- ・一麦 樹木伐採及び処分（令和3年3月）滋賀中央森林組合 1,133,000円
- ・もみじ・あざみ樹木伐採及び処分（令和2年11月）滋賀中央森林組合 1,595,000円
- ・もみじ体育館照明設備工事（令和3年3月）(株)PCウエスト 4,730,000円
- ・「社会福祉法人用役員賠償責任保険」の加入(継続) 保険料 83,000円
加入日：令和2年10月1日（期間：1年間）
被保険者：理事及び監事。評議員を含む。
- ・「しせつの賠償補償」の加入(継続) 保険料 237,640円（全事業所合計）
保険期間：令和2年年4月1日から1年間

2) 届出

- ・指定障害福祉サービスに関する報告・届出（全施設・事業所）令和2年4月13日
実績報告書：各施設・事業所
- ・労務関係（労働基準法） 令和3年3月26日（一麦、もみじ・あざみ）
第16条第1項関係 時間外労働、休日労働に関する協定届（但し、時間外労働については特別条項を付記）
第12条の4第6項関係 1年単位の変形労働時間制に関する協定届

7、登記関係

社会福祉法人変更登記

- 1) 令和2年6月26日 資産総額変更登記
(令和2年3月31日現在 2,324,320,544円)

8、主な事項・行事等

感染症防止対応の徹底と継続。具体的には、施設外部者との接触を制限し、活動においても内容の変更や自粛を基本として1年間過ごしました。家族との面会や帰省等は貴重な活動ですが一切実施することが出来ませんでした。すべての活動を停止したわけではなく、内容や実施方法を考え感染症対策を講じ、運動会やクリスマスなど施設内行事だけでなく、外出なども人出を避け場所や時間帯なども考慮し実施した施設外活動も多数あります。年度中に実施できませんでしたが、リモート機器を活用し面会・面談ができるように整いました。

9、なんでもお話ししましょう会（大木会福祉サービス苦情解決委員会）

各施設の寮生さん達との直接のなんでもお話ししましょう会を実施することはできませんでした。苦情解決委員会のみでも実施を検討しましたがととのわず開催していません。リモート機材の活用も含めて次年度の実施方法を検討することが求められます。

10、各種研修会実施・参加状況

区分	内容	担当者（主催）等	受講者（対象）	実施時期
初任者研修	新任の育成	田村理事長 松田施設長 多田事務局長	新任職員 計4名	8月25日 12月29日 3月22日
一般職員研修	専門性とは？ (第2部) ハラスメント防止研修	松田施設長	一般職員	11月11日 11月19日 1月18日
虐待防止	施設内虐待防止	湖南市 Web 甲賀市 Web	各施設2名程度 各施設2名程度	3月8日 2月16日
ハラスメント防止	一般研修と合わせて実施			
全国・近畿	知的障害関係施設職員研修会			延期
専門・◇	サービス管理責任者（更新） 相談支援従事者現任研修 強度行動障害者支援者研修(基礎) (実践)	滋賀県 滋賀県 滋賀県	もみじ（長山） 相談（川本） 一麦1、もみじ1	1月 12月～3月 11月、12月
大木会青山塾	休講			
*自己企画研修	個人又は小グループの企画立案	未実施		

〈 一 表 〉

1、実施事業

生活介護	定員 50 名
施設入所支援	定員 50 名
短期入所	定員 2 名(男 1、女 1)
日中一時支援事業	定員なし
緊急一時保護 (甲賀圏域)	
災害時における福祉避難所 (湖南市)	

2、利用者の異動

年度初日	定員 50 名	現員 48 名	
年度末日	定員 50 名	現員 48 名	但し 7 月 4 日から 1 名 (男子) 長期入院中

3、職員の異動

令和 2 年 4 月 1 日現在

33 名 施設長 1 (サービス管理責任者兼務)
事務長 1 副施設長 1 (生活支援員兼務)
生活支援員 18 (常勤 16、短時間 2)
嘱託医 1、看護師 1
栄養士 1、調理員 5 (常勤 2、短時間 3)
書記 3

年度中採用 (12/1) 1 名 (調理員 1 名 非正規)

令和 3 年 3 月 31 日退職 5 名 (生活支援員 3 名、調理員 1、事務 1)

4、基本方針 (重要事項) の進捗と経過について

1. 集団生活の中で相互の成長を願う生活活動

ユニット (生活グループ)、日中活動クラスそれぞれで活動体験を実施し、誕生会や学期ごとのお楽しみ会などを通して仲間と楽しみ、仲間を意識する機会にもなっています。

2. 健康保持にむけて

毎月、嘱託医 (佐野医師) の訪問により、健康不安のある利用者の個別相談と必要な指示を受けることで健康を整えています。全体的に高齢者が多く、健康の急変への対応が喫緊の課題となっています。

3. 中長期に向けての施設整備計画

当初計画した居室 (1) の改修工事も感染症対策のため中止としています。個別の居室補修とともに健康管理と安全管理を兼ね備えた夜間対応ができる環境整備を検討しているが、専門家への具体的な相談に至らず次年度の課題としました。

4. 防災対策と被災時の対応

被災時のライフラインの復旧までの対応として、食料品及び衛生用品の備蓄を進めています。避難所対応時分の備蓄や対応マニュアルが未整備で感染症拡大時の対応も含めて各種 BCP (事業継続計画) の作成と更新が必要な状況です。

5、利用者と生活の状況

<特記事項>

新型コロナウイルス感染症による生活の変化は健康、生命の保持のためには避けることが出来ませんでした。感染源を施設内に持ち込まないためには、施設外での活動自粛と人との接触を避けることが一番の方法です。職員の私生活においても自粛を求めて過ごしました。これまでの活動を見直し、運動会も利用者、職員のみで行いました。感染症防止対策を整えたうえでほとんどの行事や取り組みが実施できたことで、日常生活とその継続の大切さを振り返ることが出来たと思います。

<生活の様子>

感染症防止が生活の重要事項となり、普段の生活活動としっかりと向き合うことで急がず丁寧に向き合う時間が出来たように感じます。年齢的には健康不安が増える年代の方が多く、日々の健康把握の大切さにも全職員が身近になったこともコロナ禍で学べたことかもしれません。

<医療・診療状況>

<受診状況>

受診科	実人数	受診回数
内科	29	227
泌尿器科	6	43
外科	9	23
整形外科	10	102
婦人科	8	8
精神科（神経内科）	19	153
耳鼻咽喉科	5	6
眼科	5	16
皮膚科	12	130
歯科	48	362
リハビリ	4	221

<主な検診>

6/17	結核検診
7/6 12/2	内科健診（嘱託医）
9/10.24	腹部エコー
10/1	歯科検診（口腔センター）
11/4	インフルエンザ予防接種
11/12. 12. 24. 26	婦人科検診
1/22	成人病健診

<入院>実人数 3人

- ・滋賀医科大学付属病院 7/4～9/23 感染症、傾眠傾向
- ・神崎中央病院 9/23～ 傾眠傾向、経口摂取不良
- ・済生会滋賀県病院 9/30～10/9 肺炎、尿路感染症
- ・済生会滋賀県病院 12/27～12/30 膀胱がん

6、主な行事・活動

- ・防災・避難訓練 12月18日（金）11:25～11:45 多目的ホール
- ・第17回土と色一ひびきあう世界一 2/23～2/28 於：京都市京セラ美術館

【主な活動】

- 4/2 新人職員着任式・新年度会議、/6 始業式（クラス編成発表）、/20 音楽教室（懐かしの歌謡曲を振り返ろう）
- 5/5 はんごうすいさん、/14 卓球部、/29 音楽教室（ドリフターズ）
- 6/6 害虫駆除、/14 卓球部、/17 結核健診、/29 音楽教室（ドラえもん）

- 7/6 内科検診（嘱託医）、/7 七夕祭、/20 夜間業務職員検診、/22 学施合同会議、/26 音楽教室（打楽器の巻）、/28-29 一麦合宿
- 8/3 プール開き、/4 消防設備点検、/9 終業式、/17 始業式、/21 地藏盆、/27 音楽教室（朝ドラ主題歌を振り返る）
- 9/10 腹部エコー①、/20 卓球部、/24 腹部エコー②、/30 音楽教室（オーケストラについて）
- 10/2 お月見会、/18 第 59 回一麦運動会、/25 卓球部、/29 音楽教室（クラシック音楽、音楽隊発表）
- 11/1 害虫駆除、/4 インフルエンザ予防接種. 2 学期お楽しみ会、/15 卓球部、/30 音楽教室（世界一簡単な楽器 カズー）
- 12/2 内科検診、/6 卓球部、/8 もちつき大会、/24 クリスマス会、/25 終業式、/26 音楽教室（絵描き歌）
- 1/1 新春お楽しみ会、/6 始業式、/15 傘寿・古希祝会、新年お食事会、/17 卓球部、/音楽教室（ラジオ体操）、/22 成人病検診
- 2/2 節分、/12 バレンタインおやつの会、/19 音楽教室（童謡を歌おう）、/28 第 22 回一麦卓球大会
- 3/3 3 学期お楽しみ会、/19 すきやき会、音楽教室（1 年の振り返り）、/24 お別れ会、/25 修了式

7、主な施設整備

- ・ 樹木伐採処理作業 令和 3 年 3 月 滋賀中央森林組合 1,133,000 円（税込）
- ・ 食器洗浄機更新 令和 2 年 12 月 7 日 タニコー（株） 761,200 円（税込）
- ・ PC 更新（3 台）、新規購入（2 台） 小林事務機（株） 672,390 円（税込）

8、保護者会及び家族との活動状況

- 1) 5 月 28 日
 - ・ 令和元年度一麦保護者会会計等監事監査
 - ・ 書面による総会に向けての協議
 - 会長 大橋純児
 - 監事 仁平道子、大橋晴子
 - 田村理事長、松田施設長
- 2) 5 月 29 日 書面による総会
- 3) 6 月 10 日 5 議案すべて承認されたことを報告
- 4) 6 月 18 日 令和元年度利用者預り金管理報告、令和 2 年度前期個別支援計画送付
- 5) 7 月 27 日 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う一麦の対応について
 - ①帰省の中止
 - ②面会の中止 及び生活状況の便り
- 6) 9 月 24 日 近況報告と運動会の「無観客での開催」のお知らせ
- 7) 12 月 24 日 「家庭通信」送付
- 8) 3 月 30 日 オンラインによる面会のお知らせ

〈もみじ〉

1、実施事業

生活介護 定員 50名
施設入所支援 定員 50名
短期入所 定員 4名(男2名、女2名)
日中一時支援事業
定員なし (緊急一時保護)
災害時における福祉避難所(湖南省)

2、利用者の異動

年度初日 定員 50名 現員 43名
年度中 令和2年5月3日 男子1名 死亡により退所(敗血症)
令和3年3月18日 女子1名 死亡により退所(肺炎)
年度末日 定員 50名 現員 41名(男子20名、女子21名)

3、職員の異動

令和2年4月1日現在 25名

(施設長1、サービス管理責任者1
生活支援員18(常勤15、短時間3)、
看護師2(常勤1、短時間1)、管理栄養士1、
調理員1、書記1)

令和3年3月1日 採用 1名(調理員)

4、重点事項の振り返り

- (1) それぞれの生活課題に対して「一人一人を大切にしたい支援」のもとに積極的に取り組みました。年齢や能力、生活経験とその受け止め方も違うことからそれぞれに希望や要望が異なります。その違いをしっかりと認め、個別の課題に留めず、皆との暮らしの中で進めてきました。
- (2) 健康管理と医療機関との連携
下記共通資料にまとめましたが、新型コロナウイルス感染防止だけでなく日々の健康管理そのものが年齢とともに難しくなっている方が増えてきました。急変したケースもあります。日々の健康管理が医療サポートにしっかりと繋がるのがさらに求められます。
- (3) 施設整備と改修
 - ・LED照明→利用者居室工事に伴い、感染症対策より計画延期としました。
 - ・体育館舞台照明設備更新工事 4,730,000円(株)ピーエーシーウエスト(大阪)
 - ・樹木伐採 797,500円 滋賀中央森林組合(日野町)
 - ・獣害対策柵設置(農場) 641,850円(資材購入し職員作業で設置)

〈あざみ〉

1、実施事業

生活介護	定員 30名	
施設入所支援	定員 30名	
短期入所	定員 2名	
日中一時支援事業	定員なし	(緊急一時保護)
災害時における福祉避難所(湖南省)		

2、利用者の異動

年度初日	定員 30名	現員 25名 (うち1名は措置による入所者)
年度中	10月7日	1名死亡退所 (誤嚥性肺炎)
年度末日	定員 30名	現員 24名

3、職員の異動

令和2年4月1日現在	19名	〔 施設長1名、サービス管理責任者1名 生活支援員 11 (常勤5、短時間6) 看護師2 (短時間)、栄養士1、調理員1、書記1 * 育児短時間勤務利用職員1名は、生活支援員
令和2年11月1日	1名 (生活支援員) 採用	
令和3年3月31日	2名 (生活支援員2名、うち1名短時間) 退職	

4、重点事項の振り返り

- (1) それぞれの生活課題に対して「一人一人を大切にした支援」のもとに積極的に取り組みました。年齢や能力、生活経験とその受け止め方も違うことからそれぞれに希望や要望が異なります。その違いをしっかりと認め、個別の課題に留めず、皆との暮らしの中で進めてきました。
- (2) 健康管理と医療機関との連携
下記共通資料にまとめましたが、新型コロナウイルス感染防止だけでなく日々の健康管理そのものが年齢とともに難しくなっている方が増えてきました。急変したケースもあります。日々の健康管理が医療サポートにしっかりと繋がることがさらに求められます。
- (3) 施設整備と改修
 - ・ LED照明→利用者居室工事に伴い、感染症対策より計画延期としました。
 - ・ 樹木伐採 797,500円 滋賀中央森林組合 (日野町)

もみじ・あざみ共通参考資料

1、利用者の生活状況と取り組みについて

新型コロナウイルス対策を中心とした生活が、すでに1年経過したにもかかわらず拡大の勢いが増し、終息の気配がない状況です。生活活動の自粛は、不満や不安を蓄積し生活意欲の減退や生活リズムの変調などに現れることが多いですが、普段の暮らしを大切にしっかりと日々の暮らしに向き合ってくれています。改めて自分の暮らしに対しての誇りとその自信が強く守ってくれているように感じます。

行事や外出などこれまでと同じ方法ではできません。いろいろと知恵と感染症対策を組み合わせ、運動会、文化祭、クリスマスなどの大きな行事だけでなく、月々にいろんな取り組みを加え、寮生・職員共に現在できる範囲で精一杯頑張ってくれたように感じます。

2、健康管理から見る体と暮らしの変化

新型コロナウイルス感染症拡大予防の対策として行動の自粛、職員のマスク着用、手指衛生、共用する場所や物の消毒、室内での換気など安心して暮らすことのできる環境づくりを続けています。

起床時、就寝前の検温と健康チェック、体調不良の早期発見とその情報共有に努め感染症の予防と拡大防止につなげなければなりません。

加齢に伴う全身機能の低下や気力、意欲の低下により生活環境や個々の身体の変化への対応も難しくなるため混乱のないかわり方を工夫し暮らしの全体を整えていく必要があります。

また、年齢に関係なく若い利用者においても身体機能面、精神面の状態の把握を正確に行うことでこれからも施設で安心して暮らせると考えています。利用者の皆さん一人一人と丁寧に向き合い、ご家族の方とも利用者の情報や状態を共有し、これからも心身ともに穏やかに暮らせる時間を大切にしなければなりません。

3、医療・受診状況

〈通院状況〉

受診科	もみじ		あざみ	
	実人数	受診回数	実人数	受診回数
内科	39	278	21	146
外科	10	18	6	10
整形外科	13	102	11	59
婦人科	1	1	2	2
泌尿器科	10	77	1	8
皮膚科	11	50	12	54
眼科	18	30	7	23
精神科（神経内科）	0	0	1	4
歯科	19	82	14	26

〈定期健診等〉

7月2日	結核検診
7月15.16日	内科検診
7月15.16日	腹部エコー
8月6日	歯科検診
10月29日	インフルエンザ予防接種
1月20・21日	成人病検診

〈嘱託医契約〉 嘱託医を配置せず、無医師配置減算体制を届出。

〈入院の状況〉

もみじ：済生会滋賀県病院 48日間（敗血症 R2.3.16～5.2）

43日間（ネフローゼ症候群 R2.12.11～1.22）

10日間（肺炎 R3.3.9～3.18）

あざみ：済生会滋賀県病院 8日間（誤嚥性肺炎 R2.9.30～10.7）

14日間（胆管炎 R2.10.20～11.2）

〈来診・往診の状況〉：

佐野医院（内科） 4名（12回）

阿星山診療所（精神科） もみじ：25名（303回）

あざみ 17名（204回）

*毎月往診の形態で各利用者（及び担当職員）と面談し、処方箋を含めて対応

〈訪問マッサージ〉 たかはし治療院

計3名の利用者が、医師の意見書をもって身体機能の保持と低下の抑制を治療目標に、1～3回/週の割合で、訪問マッサージを受けています。

4、主な行事・活動

4/2 着任式、/3 新年度会議、/6 始業式

5/1 氏神祭（施設内）、/14 誕生会・お楽しみ会、/24 運動会

6/11 薬剤散布（害虫駆除）、/14 古希祝会（女子棟）、/16 総合防災訓練（消防署来）、/25 誕生会・お楽しみ会

7/2 結核健診、/4 創立記念行事“今日もみんな元気です”上映会、/7 七夕・創立記念、/13 社会科学習会、/15.16 内科検診、/17 避難訓練、/18 食堂喫茶、/21 深夜業務従事職員健診、/30 誕生会・お楽しみ会

8/6 歯科検診、/8 お楽しみ会、/10～14 お盆作業休み、/15 食堂喫茶、/17 避難訓練（災害ビデオ研修）、/20 社会科学習会、/24 誕生会・お楽しみ会、/27 盆踊り

9/1.2 全体モニタリング会議（前期）、/9 避難訓練、/12 食堂喫茶、/17 追悼会、/30 誕生会・お楽しみ会

10/10 食堂喫茶、/16 避難訓練、/24 文化祭、/28 誕生会、/29 インフルエンザ予防接種

11/3 男子棟祝会（古希）、/4 社会科学習会、/5 寮生旅行のつどい、/12 誕生会・お楽しみ会、/18 総合防災訓練、/21 還暦・古希・傘寿祝会（あざみ）、/28 食堂喫茶

12/8 避難訓練（DVD学習）、/10（施設内）ウオーキング大会・ゲーム大会、/12 食堂喫茶、/14 社会科学習会、/16 誕生会、/24 作業終了日、/25 クリスマス会、/28 害虫駆除、/30 忘年会、/31、もちつき大会

1/1 新年の集い、/5 映画観賞会、/7 仕事始め、/16 食堂喫茶、/20.21 成人病検診、/22 誕生会・お楽しみ会

2/1.2 全体モニタリング（後期）、/3 節分、食堂喫茶、/25 社会科学習会、/26 誕生会・お楽しみ会

3/7 ひなまつり寮生劇、/12 社会科学習会、/13 食堂喫茶、/23 誕生会・送別会、/30 作業春休み

5、家族の会開催状況及び通信状況

令和2年度の家族の会役員会及び総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止から対面での開催ができませんでした。

令和2年5月 令和2年度運動会ならびに役員会・総会の中止のお知らせ

7月27日 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関するお知らせとお願い

- ・ 8月の夏季帰省の中止と面会・施設訪問のお断りを継続
- 令和3年2月 令和2年度地区別家族の会中止のお知らせ
- 2月19日 家族の会会計及び年金管理状況 監事監査
- 3月5日 令和元年度家族の会事業報告、会計決算報告書類の送付
- 30日 オンラインによる面会のお知らせ

6、生産活動と利用者工賃（報償費）報告について

月額1,000円及び12月期に5,000円を本人支給金として、社会活動の奨励・促進を目的として全利用者に直接支給しました。

作業活動における報償費と収入のバランスがむつかしい状況が続いていますが、作業意欲と実績への評価として下記のとおり支給しました。

(月額・人数)

工賃内訳	金額	延べ人数		月平均人数	
		もみじ	あざみ	もみじ	あざみ
作業手当(3,000円)	3,000円	42	30	3.5	2.5
作業手当+皆勤手当(2,000円)	5,000円	530	229	44.2	19.0

月額平均工賃：作業参加日数を2区分（基準：3分の2以上で皆勤手当を支給）で評価し上記工賃を支給しました。

各施設の一人当たりの月額工賃は以下のとおりです。

もみじ 4,932円

あざみ 4,814円

7、生産活動（就労支援事業）会計報告

もみじ

科目	収入金額(円)	科目	支出金額(円)
生産活動収入		生産活動支出	
クリーニング事業収入	1,166,440	材料費	401,534
陶芸事業収入	9,700	労務費(報償費)	2,821,120
農芸事業収入	231,152	外注加工費	0
その他の事業収入	32,060	経費	1,258,411
生産活動収入合計	1,439,352	生産活動支出合計	4,481,065
生産活動収支差額	△3,041,713		

あざみ

科目	収入金額(円)	科目	支出金額(円)
生産活動収入		生産活動支出	
織物事業収入	706,500	材料費	175,299
		労務費(報償費)	1,246,900
		外注加工費	0
		経費	124,858
生産活動収入合計	706,500	生産活動支出合計	1,547,057
生産活動収支差額	△840,557		

< グループホーム おおきな木 >

1、事業及び体制の概要

事業名 (グループホーム) 共同生活援助 (介護包括型)

指定期間 令和2年4月1日から令和8年3月31日まで

定員 6名

職員配置 管理者 宮城てるみ

サービス管理責任者 三上智美

生活支援員 1名 (28時間/週 以上、兼務)

世話人 3名 (4:1体制 60時間/週 以上)

夜間支援体制 宿直対応 (現場スタッフ及び関係職員が対応)

2、利用者の異動

年度当初 定員6名 現員6名

年度末日 定員6名 現員6名 異動者なし

3、第1回目の緊急事態宣言への対応と安全確保について

4月16日、全国を対象に緊急事態宣言が発出されたのを機に、入居者は全員ホーム待機とし、複数回にわたりスタッフとともに今後の暮らしと安全対策について検討を行いました。入居者家族、関係施設及び行政機関を含めて協議を行い、ホームそのものの生活拠点を「もみじ・あざみの自立訓練棟」に移し、感染症対策と入居者の日中活動の対応も含めて行いました。

期間: 5月6日から7月12日まで

住居地: もみじ・あざみ自立訓練棟

日中活動: もみじ、あざみ生活介護利用

4、主な活動及びホームの動き

- ・誕生会
- ・土日の自由な買い物等の行動制限は継続。のちに世話人が同行し部分的ながらも買い物外出を再開する。
- ・もみじ、あざみの行事への参加

5、日中活動、就労状況

6名の入居者のうち2名は(福祉的)雇用契約を整え就労。他法人作業所、もみじ(生活介護)に各2名ずつ利用しています。利用者の年齢的な面からも今後は、大木会運営の日中活動に通うケースとその頻度が増える傾向にあります。

6、その他の事項

- ・スタッフ会議(業務確認、ケース検討会議等) 毎月1回
- ・健康管理への対応頻度、通院介助が増加。精神面での対応・サポートにおいては緊急度も増加傾向にあります。

＜ グループホーム 碧天（あおぞら） ＞

1、事業及び体制の概要

事業名 (グループホーム)共同生活援助 (介護包括型)
指定期間 平成29年4月1日から令和5年3月31日まで
定員 6名
職員配置基準 管理者 川本幸一
サービス管理責任者 三上智美
生活支援員 1名 (27時間/週以上)
世話人 2名 (4:1体制 39時間/週以上)
夜間支援体制 (宿直): 法人関係職員が担当

2、利用者の異動

年度当初 定員6名 現員4名
年度末日 定員6名 現員4名

3、第1回目の緊急事態宣言以降の動きについて

- ・4月16日、全国を対象に緊急事態宣言が発出されたのを機に、4月17日の夜から5月6日まで閉所しました。ご家族のご理解ご協力も得られました。
- ・おおきな木の生活拠点が「もみじ・あざみ自立訓練等」に移され、職員の勤務体制を整える必要があり、5月7日から7月末までは週末開所はせず、管理者とサービス管理責任者の2名で夜間支援も含め乗り切ることになりました。

4、リスクの高いグループホームでの対応

- ・4名それぞれが異なる作業所に通所し、週末は帰省もしています。ご家族の職場や作業所職員の家族、作業所が運営するグループホームでコロナ感染者や濃厚接触者が出るなど心配なことが複数回ありました。事実が分かった時点で、早期に最善の対応を取り、事なきを得ていますが、引き続き各作業所との連携とご家族のご協力が重要になってきます。

5、主な活動及びホームの動き

- ・入居者の誕生会 (誕生月ごと)
- ・年度後半はご家族のご要望もあり、月2回の土曜開所を実施しました。

6、日中活動、就労状況

4名の入居者は、それぞれ別の作業所に通所しています。コロナ禍でもあり、各作業所とも密に連携を取り、安心して通所できるよう取り組みました。

7、その他の事項

- ・スタッフ会議 (業務確認とケース会議等) 毎月1回
- ・ご家族には、月1回の碧天通信や帰省時の連絡ノートで様子を伝えています。

